

R 6 ソーシャルワーク実習 基本実習プログラム（基本 PG）

ソーシャルワーク実習 教育に含むべき事項 (国通知)		達成目標 (評価ガイドライン) ※各達成目標の具体例は行動目標を参照	当該実習施設における実習の実施方法及び展開					指導上の留意点
			学生に求める事前学習	具体的実習内容				
				SW 実践の場の理解に関する内容	SWr の理解に関する内容	SW 実践の理解に関する内容	SW 実践の理解に関する内容 (発展的)	
①	利用者やその関係者（家族・親族、友人等）、施設・事業者・機関・団体、住民やボランティア等との基本的なコミュニケーションや円滑な人間関係の形成	(1)クライアント等と人間関係を形成するための基本的なコミュニケーションをとることができる	・糸賀著作物の閲覧 ・学園資料の閲覧 ・コミュニケーション技法の確認 ・バイステックの7原則の確認	①施設の成り立ちについて説明を受ける ②施設が対象としている支援の必要な人たち(以下、CL)の特性と日々の生活について説明を受ける ③施設の組織、また提供するサービスについて説明を受ける	①内外の会議、プロジェクト等に参加し、SWrの立場や役割を観察、記録にまとめる ②職員のCLとの関わりにおけるコミュニケーション技法を観察、記録にまとめる	①CLの生活場面に入り、CLや職員へ挨拶や自己紹介をおこなう ②職員のCLとの関わりにおけるコミュニケーション技法を説明できる	①職員のCLとの関わりにおけるコミュニケーション技法を用いたCLへの関わりを実践する ②内外の会議、プロジェクト等において、自分の考えを説明する ③個別支援計画を作成し、その内容について具体的に説明をおこなう	・実践的ケア基準 ・広報資料 ・PT資料
②	利用者やその関係者（家族・親族、友人等）との援助関係の形成	(2)クライアント等との援助関係を形成することができる	・福祉型障害児入所施設(知的)の機能と役割を調べる ・知的障害の障害特性を調べる ・児童指導員の仕事を調べる	①福祉型障害児入所施設(知的)に入所するCLや家族の特性、傾向について説明を受ける ②知的障害の障害特性について説明を受ける ③心理士オリエンテーション、家族支援PTの説明を通じ、職員と家族との関係構築の必要性の説明を受ける	①CLの障害特性や入所背景に基づいたSWrのアセスメントの視点について説明を受ける ②日常場面の職員とCLの生活場面面接を観察、記録にまとめる	①心理士オリエンテーション、家族支援PT等を用いたCLとの関わりを説明できる ②職員とCLの課題解決に向けた関わり場面を観察もしくは状況説明を受け、今後の援助過程について検討・報告し、職員より助言を受ける	①(①の発①)と共通 ②自身のCLにおいて、障害特性や課題の異なるCLへの関わり方の違いを説明する ③個別支援計画を作成したCLと、計画に基づいた課題解決のための関わりを実践する	・個別支援計画書 ・心理士オリエンテーション資料
③	利用者や地域の状況を理解し、その生活上の課題(ニーズ)の把握、支援計	(4)クライアント、グループ、地域住民等のアセスメントを実施し、ニーズを明確にすることができる	・アセスメントに関するテキストを閲覧する ・知的障害、発達障	①各班・指導員室において児童個別ファイルを閲覧し、CLの障害特性や課題について説明を受ける ②個別支援計画において、エンゲージメントから	①CLの成育歴とCLを取り巻く環境に基づいたSWrのアセスメントの視点について説明を受ける ②班会に出席し、個別支援計画の策定や、それに基づいた支援の評価、見直しの展開過程を観察	①個別支援計画作成に向け、CLのニーズ把握を目的とした関わりを実践する ②個別支援計画作成に必要な情報収集(心理士、看護師等)を実践する	①(②の発①)と共通 ②個別支援計画作成から評価までの一連の過程を実習指導者に報告し、評価をうける	・児童個別ファイル ・個別支援計画書 ・園長講話資料 ・事業報告書

	画の作成と実施及び評価	(5)地域アセスメントを実施し、地域の課題や問題解決に向けた目標を設定することができる (6)各種計画の様式を使用して計画を作成・策定及び実施することができる (7)各種計画の実施をモニタリングおよび評価することができる	害、虐待に関するテキストを閲覧する	アセスメント、具体的支援の立案から実施、評価に至るまでの展開過程について説明を受ける ③園長講話、ならびに事業報告書を閲覧し、学園の役割について説明を受ける ④SW 専任より学園のおこなっている地域支援（連携）としての取り組みについて説明を受ける	する。その場における SW r の役割を観察する ③自立支援室会議、圏域自立支援協議会会議に参加し、地域ニーズについて SW r から説明を受ける ④圏域相談支援事業所、自立支援協議会事務局への訪問をおこなう	③地域アセスメントを考察し、記録に記載する		
④	利用者やその関係者（家族・親族、友人等）への権利擁護活動とその評価	(3)クライアントの権利擁護及びエンパワメントを含む実践を行い、評価することができる	・社会福祉士の倫理綱領を閲覧 ・学園資料の閲覧	①CL の意思表示やアドボケイトについて、学園としての取り組みや支援内容について説明を受ける ②苦情解決システム、第三者評価について説明を受ける	①権利擁護委員会に同席し、CL の意思表示やアドボケイトを職員がどのように実践しているかを観察、記録にまとめる ②日常生活場面において、職員のエンパワメントの視点に基づいた CL への支援を観察する	①日常生活場面において、職員のエンパワメントの視点に基づいた CL への支援を過去の事例を基に考察し記録にまとめる	①CL へのエンパワメントの視点に基づいた支援を実践する	・子どもの権利ノート ・苦情解決・第三者評価書
⑤	多職種連携及びチームアプローチの実践的理解	(8)実習施設・機関等の各職種の機能と役割を説明することができる (9)実習施設・機関等と関係する社会資源の機能と役割を説明することができる (10)地域住民、関係者、関係機関等と連携・協働	・学園資料の閲覧 ・圏域システムに関する資料を閲覧	①各職種の機能と役割、科、係、各会議の機能と役割について説明を受ける（副園長講話、自立支援室講話、医局オリエンテーション、心理士オリエンテーション） ②学園内における各職種の連携や共同の実践について説明を受ける ③学園と地域社会資源の連携や実践について説明を受ける	①各種会議・PT に参加し、多職種連携によるチームアプローチ・合意形成に向けた実践及びそこでの SW r の役割を観察する ②圏域自立支援協議会、進路検討会議等に出席し各種関係機関の役割を観察した上で、SW r の関係機関との連携の実践を観察する	①各種会議・PT に参加し、考察した自分の意見を実習指導者に伝える ②各種会議・PT に参加し、会議録を作成し実習指導者に報告する	①各種会議・PT に参加し、意見を求められた際には自分の意見を発表する ②チームアプローチの場面を観察し、チームにおける SW r の役割と各者の役割をまとめ、実習指導者へ報告する	・各会議資料 ・医務室 ・心理士 ・栄養士 ・副園長（児発管） ・地域支援室（進路、短期入所、見学）

		することができる						
		(11)各種会議を企画・運営することができる						
⑥	当該実習先が地域社会の中で果たす役割の理解及び具体的な地域社会への働きかけ	(12)地域社会における実習施設・機関等の役割を説明することができる (13)地域住民や団体、施設、機関等に働きかけることができる	・学園資料の閲覧	① (③の③) (⑤の①) と共通 ② (③の④) と同様 (学園による地域支援) ③ 学園の CL と地域のつながりについて説明を受ける (利用者への支援)	① 学園の SW r がおこなっている地域支援 (連携) の実践内容について説明を受ける ② (⑤の②) と共通。また、卒園児アフター会議等を通じて SW r と CL の関わりや支援について説明を受ける	① 各種会議、PT への同行から地域支援におけるニーズを実習指導者と検討する	① 地域支援 (連携) におけるニーズについて、学園での支援展開について検討、報告書をまとめる ② (⑤の①) と共通	・事業報告書 ・各種会議資料
⑦	地域における分野横断的・業種横断的な関係形成と社会資源の活用・調整・開発に関する理解	(14)地域における分野横断的・業種横断的な社会資源について説明し、問題解決への活用や新たな開発を検討することができる	・学園資料の閲覧 ・糸賀著作物の閲覧	① 学園の成り立ちから社会資源との関係形成の在り方について、学園の基本方針の観点を基に説明を受ける (園長講話) ② 入所児の生活状況や学園の取り組む事業内容を踏まえて、社会資源の活用・開発の必要性について説明を受ける (副園長講話)	① 子家相 (県)、子家室 (市町)、行政、学校、地域相談、サービス調整との連携のなかで SW r の役割について説明する	① 学園と連携している社会資源を整理し、記録にまとめる ② 個別支援計画作成時、支援における社会資源の活用について考察し、計画に反映させる ③ 新たな社会資源の開発について考察し記録にまとめる	① 学園の連携している社会資源とその内容について、実習報告会にて説明する ② 新たな社会資源の開発について考察した内容を実習指導者へ報告し、評価を受ける	・学園資料 ・個別支援計画書
⑧	施設・事業者・機関・団体等の経営やサービスの管理運営の実際 (チームマネジメントや人材管理の理解を含む)	(15)実習施設・機関等の経営理念や戦略を分析に基づいて説明することができる (16)実習施設・機関等の法的根拠、財政、運営方法等を説明することができる	法令の閲覧 ・児童福祉法 ・障害者総合支援法	① 学園の事業計画・報告の閲覧 ② 法律に基づく障害者ならびに社会的養護を取り巻く状況について説明を受ける ③ 各種会議、PT の現状と進行過程について説明を受ける	① 福祉型障害児入所施設におけるチームマネジメントの必要性を踏まえ、学園でのチームマネジメントのための SW r の実践について説明を受ける ② 障害者施策、社会的擁護を取り巻く法制度を基に SW r の実践について説明を受ける →チームビルディング担当	① 福祉型障害児入所施設におけるチームマネジメントの必要性について考察し、記録に記載する ② 現在施設を取り巻く現状を踏まえ、福祉型障害児入所施設の今後の在り方や SW r が担う実践について考察し、記録に記載する	① 福祉型障害児入所施設におけるチームマネジメントの今後の在り方や SW r が担う実践について考察し、実習指導者に報告する	・事業報告書 ・建て替えに関する資料 ・チームビルディング

⑨	社会福祉士としての職業倫理と組織の一員としての役割と責任の理解		(17)実習施設・機関等における社会福祉士の倫理に基づいた実践及びジレンマの解決を適切に行うことができる (18)実習施設・機関等の規則等について説明することができる	・社会福祉士の倫理綱領	① 学園の倫理綱領について説明を受ける ② 個人情報保護のための取り組みについて説明を受ける	① 会議、PT、日常場面におけるSWrのチームアプローチ場面・課題解決過程を観察する ② 社会福祉士としての倫理についてSWrから説明を受ける	① SWrの実践における倫理的ジレンマが生じた場面についてSWrへヒアリングをおこない、記録に記載する ② 会議、PT、日常場面に参加し、チームアプローチや課題解決過程におけるSWrの倫理判断に基づく行為を発見し記録に記載する	① SWrへのヒアリングから挙げられた倫理的ジレンマについて、実習生の立場で考察し、実習指導者へ報告する ② 会議、PTへの参加時に意見を求められた際に、SWrの専門性や立場から発言をおこなう	・社会福祉士の倫理綱領 ・各種会議資料 ・実習指導者テキスト
⑩	1	アウトリーチ	(19)以下の技術について目的、方法、留意点について説明することができる	・各種用語について調べる	① 学園が取り組んでいる地域支援（連携）に関する事業の概要ならびにその理念について説明を受ける	① 会議、PT、関連事業へ同行しSWrの活動を観察する。また、関係者との関わりについて説明を受ける + 圏域相談支援事業所（主に基幹）の訪問・聞き取り	① 学園のアウトリーチ実践における目的や方法を整理し、記録に記載する ② 過去の事例を含めてアウトリーチ実践の際に生じる課題について考察し、記録に記載する	① 学園のアウトリーチ実践における目的や方法を整理し、考察した課題も含めて実習指導者に説明する	・各種会議資料 ・相談支援事業所 ・家族支援をはじめとした地域支援業務
	2	ネットワーキング	・アウトリーチ ・ネットワーク		① 圏域の社会資源や障害者を取り巻く状況を理解したうえでネットワーク構築の必要性について説明を受ける	① 多職種間との連携におけるSWrのネットワーク構築への取り組みを説明する	① 他機関とのネットワーク構築の展開過程におけるそれぞれの役割を明確にし、学園の立場について考察をおこない記録に記載する	① 他機関とのネットワーク構築の展開過程におけるそれぞれの役割を明確にし、学園の立場について考察をおこない、実習指導者に報告する	
	3	コーディネーション	・コーディネーション ・ネゴシエーション		① 各種会議、PTにおけるコーディネーションの必要性について説明を受ける	① 各種会議、PTにおいてSWrのコーディネーション場面を観察する	① SWrの観察を踏まえて、SWrのコーディネーションの必要性、留意点を考察し記録に記載する	① SWrの観察を踏まえて、SWrのコーディネーションの必要性、留意点を実習指導者に報告する	
	4	ネゴシエーション	・ファシリテーション ・プレゼンテーション		① 各種会議、PTにおけるネゴシエーションの必要性について説明を受ける	① 各種会議、PTにおいてSWrのネゴシエーション場面を観察する	① SWrの観察を踏まえて、SWrのネゴシエーションの必要性、留意点を考察し記録に記載する	① SWrの観察を踏まえて、SWrのネゴシエーションの必要性、留意点を実習指導者に報告する	
	5	ファシリテーション	・ソーシャルアクション		① 各種会議、PTにおけるファシリテーションの必要性について説明を受ける	① 各種会議、PTにおいてSWrのファシリテーション場面を観察する	① SWrの観察を踏まえて、SWrのファシリテーションの必要性、留意点を考察し記録に記載する	① SWrの観察を踏まえて、SWrのファシリテーションの必要性、留意点を実習指導者に報告する	

6	プレゼンテーション	7	ソーシャルアクション	①各種会議、PTにおけるプレゼンテーションの必要性について説明を受ける	①各種会議、PTにおいてSWrのプレゼンテーション場面を観察する	①SWrの観察を踏まえて、SWrのプレゼンテーションの必要性、留意点を考察し記録に記載する	①SWrの観察を踏まえて、SWrのプレゼンテーションの必要性、留意点を実習指導者に報告する
	①過去の事例を基に、これまで学園が中心となっておこなってきたソーシャルアクション実践について説明を受ける		①過去の事例を基に、これまで学園が中心となっておこなってきたソーシャルアクション実践について説明を受ける	①障害福祉分野における現状やニーズを考察する ②障害福祉分野における今後求められるソーシャルアクションとは何かを考察する	①考察したソーシャルアクションについて、実習指導者に報告し評価を得る		
特色		・SW専任担当に実習担当を持ってもらう（平日日勤・机が隣）ことで、日常的にSVが行いやすい環境。 ・入所施設でありながらも、上述したようにSW専任が配置されていることから、直接支援よりもSW専任の動きをベースとした実習体制の提供。 ・SW専任をはじめとした心理士、看護師、栄養士等の専門職配置による園内での多職種連携。 ・3次機関として、全圏域を対象にした他機関・多職種連携。 ・建て替えにより、各ユニットごとに特色のある係運営とその体感。					